

## 会議概要

### 1. 名称

(和文) 国際人類学民族科学連合 (IUAES) 2015 年中間会議

(英文) Inter-Congress 2015 of the International Union of Anthropological and Ethnological Sciences (IUAES)

### 2. 会期

2015 年 7 月 15 日 - 7 月 17 日 (3 日間)

### 3. ウェブサイト

<http://socanth.tu.ac.th/iuaes2015/>; <http://www.iuaes.org>

### 4. 会議出席者名

小泉潤二 (IUAES 事務局長 日本学術会議第一部連携会員)

### 5. 会議開催地

タイ王国バンコク市 タマサート大学 タ・プラチャン・キャンパス

### 6. 参加状況

参加者 505 名、参加国 27 カ国 (タイ、マレーシア、フィリピン、インド、バングラデシュ、ベトナム、中国、香港、日本、イギリス、アイルランド、ポーランド、セルビア、スロヴェニア、クロアチア、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ、カナダ、ブラジル、南アフリカほか)

日本人参加者 43 名 (日本文化人類学会前会長 小泉潤二、日本文化人類学会会長 関根康正、国立民族学博物館教授 池谷和信、首都大学東京教授 綾部真雄ほか)

## 会議の様相

- **中間会議全体について**

本中間会議は、タイのタマサート大学社会学人類学部が組織委員会を担当し、同大学のタ・プラチャン・キャンパスで開催された。組織委員長はアヌソーン・ウンノ Anusorn Unno[写真右]、全体のテーマは「人類学と社会学の境界を再考する Re-imagining Anthropological and Sociological Boundaries」である。参加者は500人あまりで、73のパネルが組織され、IUAES 中間会議としては小規模だったが内容は充実していた。本中間会議のウェブサイトは <http://socanth.tu.ac.th/iuaes2015/> にある。



- **日程**

会期は2015年7月15日-17日で、開会式は7月15日午前、閉会式は17日夕刻に行われた。IUAES 執行委員会(Executive Committee)の役員による非公式の打合わせは13日から始まり、正式の役員会は開会式前日と閉会式終了後に2度開かれた。IUAES 総会(General Assembly)は16日夕方の開催だったが、それに先立つ15日夜には、IUAES の個別コミッション会議、及び各コミッションの代表を集めてコミッション協議会(Council of Commissions)が開かれた。このほか16日と17日に役員会とコミッション協議会の合同会議が二度開催された。これらに加えて、全世界の人類学会のネットワーク化と国際協力を目指して10年前に設立された、WCAA(人類学会世界協議会 World Council of Anthropological Associations)の役員とIUAES 役員の合同役員会が16日と17日に2度開かれ、17日午後にはIUAES とWCAA の関係を議論するため公開の特別セッションが設けられた。

- **IUAES とWCAA の協力関係**

これらの会議の中心議題は、IUAES とWCAA のより緊密な連携と協力関係の強化であり、この目的のためにとくに準備された会議も多かった。この結果、IUAES とWCAA との間で協力関係について正式の協定書を取り結ぶ案と、両組織を一つの組織のもとに置く規約を整備する案の両案について検討を続け、2016年を目途に両組織の全会員による投票を行う方向となった。



- **IUAES 役員会(執行委員会)の審議事項**

会計報告、コミッション協議会準備、総会準備、中間会議と世界大会の準備状況、コミッションの活動支援、ウェブとソーシャルメディアの活用、ロゴの変更、ニュースレターの発行、ユネスコ組織との関係、WCAA との関係の検討、ほか



- **IUAES 総会の審議事項**

会計報告、コミッション協議会報告、2014 年中間会議(千葉)報告、2015 年中間会議(バンコク)報告、2016 年中間会議(ドゥブロヴニク)準備報告、2018 年世界大会(フロリアノポリス)準備報告、ニュースレターの新刊、IUAES と WCAA の関係強化、ほか。なお、本中間会議前に行われた選挙でカナダのヘザー・オリアリー(Heather O' Leary)がコミッション協議会議長(Head of the Council of Commissions)に選ばれたことから、オリアリーが IUAES 役員会に参加することが正式決定された。

- **WCAA 代表者会議**

本中間会議に出席した WCAA 加盟学会代表による会議が 7 月 16 日に開催された。

- **基調講演**

3名の研究者による基調講演は、たいへんオリジナルでレベルの高いものだった。サスキア・サッセン(コロンビア大学)、エンセン・ホ(デューク大学)、ゴ・ベン・ラン(シンガポール国立大学)による講演の内容は以下の通り。

- SASSSEN, Saskia, “Analytic Borderlands: Before Method?”(「分析の境界——方法以前」)
- HO, Engsens, “Why Inter-Asia? Concepts for a Thick Transregionalism”(「なぜ〈アジア内関係〉なのか——綿密な超地域主義のための諸概念」)
- GOH, Beng Lan, “The Urgency of the ‘Universal’ in a Global Age: A View on New Politics in Southeast Asia”(「グローバル時代においては〈普遍〉が緊要——東南アジアの新しい政治展開に対する視点」)



- **ラウンドテーブルとパネル**

WCAA ラウンドテーブル

“Do Good Fences make Good Neighbours?: Perspectives on the Anthropology–Sociology Relationship from Plural Global Vantage Points”(「よい垣根はよい隣人をつくるか——人類学と社会学の関係についてのグローバルな複数視点からの見え方」)

IUAES2015 ラウンドテーブル

“Religious Pluralism”(「宗教の多元性」)

このほか合計 73 のパネルが組織された。

- **その他**

ソーシャルプログラムとしては、15 日夜にレセプション、16 日夜にチャオプラヤ川リバー・クルーズ夕食会が開かれた。

- **学術上の方向性**

人類学・民族学における学術上の国際協力は、活発化し拡大する傾向にある。これは、2013 年にマンチェスターで開催された IUAES の世界大会、また 2014 年に千葉市で開催された IUAES の中間会議以来、IUAES が活性化し強力となりつつあることが大きな理由である。また、2004 年に世界 14 学会の参加で成立した WCAA が、既に 52 学会の加盟を得て全世界の人類学会長のネットワークを拡大していることもある。IUAES と WCAA 両組織は、緊密な協力関係を構築することに成功し、今回バンコクの IUAES 中間会議でも協力してパネルを組み、合同役員会を開催し、両組織の協力関係について正式の協定書の作成を検討し、さらには両者合同の組織を設立する構想について提案されるなど、相互に接近し関係を強めている。本中間会議で IUAES と WCAA の緊密な協力関係についての集中的な議論が行われたことにより、全世界の人類学・民族学研究者の協力関係が進行・充実したという印象が強い。こうした中で人類学・民族学の研究領域として、グローバリゼーション、地球環境問題、災害、移民、紛争、民族問題、人種など、現代世界が直面する課題の重要性が増している。

- **会議において日本が果たした役割**

IUAES 事務局長の小泉潤二は 2009 年に選出されて以来この任にあり、本中間会議における上記会議の多くについて計画・招集・議題整理を行い、議長・共同議長として結果のとりまとめを行ったほか、本中間会議、また今後の IUAES の活動のすべてについて責任を負っている。また、2005 年－09 年には WCAA 会長を務めたことから、現在の IUAES と WCAA の緊密な協力関係の構築において中心的役割を果たしている。

## 次回以降の開催予定

- **2016 年**

国際人類学民族科学連合 (IUAES) 2016 年中間会議 (IUAES 2016 Dubrovnik)

会期 2016 年 5 月 4 日－5 月 8 日 (5 日間)

開催地 クロアチア共和国 ドゥブロヴニク市

準備機関 ザグレブ人類学研究所 The Institute for Anthropological Research,  
Zagreb

スロヴェニア民族学人類学会「クラ」 Slovenian Ethnological and  
Anthropological Association “Kula”

組織委員長 ザグレブ人類学研究所 所長 サシャ・ミソニ教授 (Saša Missoni)

テーマ 「世界の人類学と知識の私有化——人類学を公共化する  
World Anthropologies and Privatization of Knowledge: Engaging  
Anthropology in Public」

ウェブサイト <http://iaaes2016.com/>

● 2017 年

国際人類学民族科学連合 (IUAES) 2017 年中間会議 (IUAES 2017 Ottawa)

会期 2017 年 4 月 25 日－4 月 30 日 (6 日間)

開催地 カナダ オタワ市

準備機関 カナダ人類学会 The Canadian Anthropology Society/Société  
Canadienne d'Anthropologie (CASCA)

組織委員長 オタワ大学 社会学人類学部 スコット・サイモン教授 (Scott Simon)  
(暫定)

● 2018 年

国際人類学民族科学連合 (IUAES) 第 18 回世界大会 (IUAES 2018 Florianópolis)

会期 2018 年 7 月 30 日－8 月 3 日 (5 日間)

開催地 ブラジル連邦共和国 フロリアノポリス市

準備機関 ブラジル人類学会 Brazilian Association of Anthropology (ABA)

組織委員長 サンタ・カタリナ連邦大学 ミリアム・ピラール・グロッシ教授 (Milliam  
Pillar Grossi)

テーマ 「遭遇の世界と世界の遭遇——人類学的知の過去・現在・未来」  
World (of) Encounters: The past, present and future of anthropological  
Knowledge